

活動団体・区長ヒアリングのまとめ

令和7年4月

■団体・区長ヒアリングのまとめ

1. ヒアリングの概要

(1) 実施日

令和7年2月26日・27日・28日、3月4日・11日・12日

(2) 実施した団体及び地区

団体	ごみ問題対策協議会、アイリスかわごえ、健康かわごえ推進協議会、食生活改善推進協議会、スポーツ協会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉会、NPO法人子育てサポートほっとまむ、社会福祉法人日の本福祉会、民生・児童委員協議会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団、あいあいホール企画委員会、人権擁護委員会、保護司会、消防団、豊田ホテルを育てよう会、ひばりこども園、社会福祉法人川越町社会福祉協議会
地区	当新田地区、豊田地区、北福崎地区、亀須地区、亀崎地区、上吉地区、南福崎地区、豊田一色地区、高松地区、天神地区(全地区)

2. 総合計画の各施策に対するまちづくりの課題・提案等

基本方針1 安全で快適な暮らしができるまちづくり

基本施策	まちづくりの課題・提案等
1. 防災・消防・救急	・災害時の避難についての問題への対応を学ぶ講演会を実施する。 ・デジタル技術を活用し、災害時における救助・搜索のための位置情報の利用などを実施する。 ・災害時に学童の子ども達を避難させることができるかを心配している。避難訓練もしているが、3人のスタッフでの対応になるため、どのように、どこへ避難するのが良いのかを定期的にアドバイスがもらえると良い。 ・災害時における女性の視点は大切であるため、今後も防災をテーマに女性目線で勉強し、町民全体に活動を広げられるようにしていきたい。 ・機能別消防団として平日昼間に町内にいる町内企業の社員や役場の新任職員に団員なってもらったり、商工会の女性部と連携し、広報の手伝いができる女性消防団員になってもらったり、小学生、中学生、高校生にも消防活動などを経験させられるような活動ができると良い。 ・今後は南海トラフ地震の発生に備えた防災にも力を入れていきたい。特に災害時には学校や自宅などの町内にいる子どもなどとの連携も大事になるため、子どもと一緒に避難訓練ができると良い。また、災害時にはドローンを使った物資輸送、被害状況の把握などができるように準備していく必要がある。 ・AEDなどの心肺蘇生などの訓練も定期的に行い、救命救急の指導

基本施策	まちづくりの課題・提案等
	員を増やしていきたい。 ・各地区に AED が配備されているが、バイスタンダーのケア(救命措置をしても助からなかった場合、救命措置をした人の心的ストレスへのケア)が重要であり、そのケア方法を考えていく必要がある。 ・障害者等を高齢者等避難(警戒レベル3)でも避難させたいため、車いすなどの人が過ごせる設備が整った町の避難所へ避難できるように対応してほしい。 ・世帯数が増加しているが、避難所として使われる公民館が狭い。 ・津波対策のため、地区内に避難タワーの設置をお願いしたい。 ・町の北部タワーへの避難訓練の実施、民間施設で避難できる場所の確保、全世帯に対応できる備蓄品・資機材の確保ができると良い。 ・災害時の備え、備蓄品の確保などを今後も考えていただきたい。 ・新築マンション等には災害時に避難施設としての機能を持たせるようにすることを町から働きかけてもらいたい。 ・災害などが起こった際、日中に人がいないため、地区内に立地する企業にお願いし、避難の協力体制をつくっている。今後も企業との協力体制を強固にしていくため、地区のイベントへの参加を呼び掛け、交流していくことを検討したい。 ・南小学校や川越高校など、近くに避難できる場所を有効に活用して避難できるような実践的な訓練を行う必要がある。
2. 交通安全・防犯	・道路のカラー舗装が消えかけているので、学校や学童周辺の修繕をお願いしたい。特に北小近くの交差点でカーブミラーが設置されていない、スクールゾーンの緑が剥げている、止まれの標識がないので改善をお願いしたい。 ・空き家などへの空き巣が増えているので、防犯対策として防犯カメラの設置を強化してほしい。 ・子どもの登下校時の安全を確保するため、老人会による登下校時間帯に合わせた見守りの散歩などができると良い。
3. 河川・海岸	・町屋川(員弁川)の堆積物や雑木などの除却ができないか。自然災害で河川が決壊すれば、下流地域へ水が流れてくるため、国道1号よりも北の河川敷で工事を行うなど、命を守る浸水対策に力を入れてほしい。
4. 上下水道	・農業用水路のセメントの堆積による水の白濁汚染が 10 数年地区の問題となっている。お金を出して農業用水を買っているのこともあり、例え無害であっても、口頭の説明だけではなく、公的に回答してほしい。
5. 環境共生	・ビオトープでホタルの自然繁殖を行い、町内で放流などができると良い。 ・ごみステーションのルールが守られず、地区の役員が分別をし直すな

基本施策	まちづくりの課題・提案等
	ど、役員の負担が大きい。そのため、もう少し分別しやすい仕組みをつくることも必要である。また、転入者には役場で詳しく分別の仕方などを伝えるようにしていく必要がある。 ・分別の効果を PR するため、びん、缶、古紙などの再生ごみをクリーンセンターで集め、お金にしていることを見える化してもらえると良い。 ・町民にごみの分別マニュアルを徹底するように改めて啓発する必要がある。 ・ごみの出し方が悪い、袋に名前を書いてもらうようにするなど対策が必要。 ・ごみの分別を四日市方式に変更してほしい。 ・粗大ごみを地区外から持ってくる人が多くなっている。地区外から持ってくる人を無くすため、住所を記入させるようにしている。 ・不法投棄等を無くすため、ごみの管理を引き続き実施したい。 ・地区の火葬場を解体するが、費用負担の検討をしている。 ・地区の火葬場の待合室は物置として使っている。 ・斎場を民間でも活用できるように制度の改善や、施設の用途変更をしてほしい。

基本方針 2 便利で活気ある暮らしができるまちづくり

基本施策	まちづくりの課題・提案等
1. 市街地・住環境	・空家を管理しながらお金を生む仕組みを作りたい。 ・空家が火事にならないように、組で草取り等を行っているため、空家に対してもっと規制をしてもらいたい。 ・空家の中には管理されず防犯上で問題になっているものがある。通学路にもなっているので、対策をお願いしたい。 ・空家問題や倉庫のトタンが剥がれているなどの問題のある家屋が増えている。 ・空家では、雑草が生い茂る、水道水が漏れている、灯油のタンクが残っているなどの問題がある。
2. 道路・交通	・国道1号と国道23号をつなぐ高松川越海岸線は歩道が狭く、凸凹があり、歩道の真ん中に電柱があるなど、危ないため、歩きやすい歩道への改修をお願いしたい。特にクリニックなどが沿道に立地しており、病気の人にやさしい道づくりができると良い。 ・国道1号と国道23号をつなぐ歩道は、一部で水が浸かる箇所があるため、水はけを良くするため、水路を改修することが必要。また、点滅信号も危ないため、改善してほしい。 ・カインズ前の道路が狭い。抜け道として利用され、北部公園あたりの交差点は事故が多いので道路改良をお願いしたい。 ・県道143号桑名川越線の点滅信号が見にくいこと、公民館近くの通

基本施策	まちづくりの課題・提案等
	学路となっている横断歩道が危ないことが地区の問題になっているため、信号機の設置などを進めてほしい。 ・行事の開催案内にバスの時刻表を掲載するなど、少しでも車での利用を控えるようにする工夫が必要である。 ・朝晩の通り抜けの車が多く危険である。毎年、順次改良申請をしているが、今年は歩道の区分のカラー舗装が消えているので地区要望を出す予定である。 ・イベントなどへの参加者の移動が大変になっているため、ふれあいバスのダイヤとイベントの開始時間等を合わせるなどの工夫が必要である。 ・イオンモール四日市北に行きたい人が多いため、ふれあいバスで行ってもらいか、タクシー助成があると良い。 ・免許返納した人へタクシー利用に補助金を出すような制度を拡充してほしい。また、ふれあいバスにバックモニターを付けてもらえるとうい。
3. 産業	・農地が減少しているが、もっと1次産業の育成ができればと思う。また、雇用の場を確保するため、新たな企業誘致ができると良い。

基本方針3 支え合いで安心な暮らしができるまちづくり

基本施策	まちづくりの課題・提案等
1. 保健・医療	・診療所の医師による健康づくりなどの身近なテーマでの講演会を、月に1回程度開催してほしい。
2. 子育て支援	・保育士が足りていない中、保育士一人当たりの保育人数が減るため、今後、待機児童が増えることが無いように保育所の運営を工夫する必要がある。 ・令和8年から始まる「誰でも通園」に取り組むには、保育士の確保が必要である。 ・保育士等を確保するため、町独自の奨学金制度があると良い。また、保育園や学童で高校生のインターンシップの受入などできると良い。 ・保育士や支援員などの求人情報を町の公式 LINE に掲載できると良い。 ・こども園化への対応をもっと迅速に行ってほしい。 ・桑名市や四日市市の私立幼稚園についても3歳児以上の無償化などを進めてほしい。 ・つばめ児童館で預かり時間の短い幼稚園に通う子どもを一時預かりするこどもの居場所づくりができると良い。 ・子どもの居場所をつくることができると良い。 ・子どものためには、母親の育成なども必要と思う。できれば母親同士

基本施策	まちづくりの課題・提案等
	が交流し、つながることができる場があると良い。 ・ファミリー・サポート・センター事業は、実働 20 人程度で対応しており、支援のあり方の再検討が必要である。また、児童館に来ない親や活動に参加していない親をファミサポなどへつなげていくようなフォローが必要ではないと思う。 ・夏休みに地元企業が社会貢献活動として、工場見学や職場体験などの受入や小さな子どもが集まる子育て支援センターでの受入などを、学童を対象にしてもらえるとありがたい。 ・遊び場や子育て相談ができる場所、児童館などのこどもの居場所、トイレの場所などを記載した子育てマップができるとよい。また、それと連動するような川越町独自のアプリなどもあるとよい。
3. 地域福祉	・子ども食堂などの子どもの居場所づくりに向け、実施する団体等へ補助金を考えてほしい。 ・子ども食堂は人とのつながりをつくる上では良いが、実際はヤングケアラーなどで困っている子どもは来ないという印象がある。 ・役場の1階に食堂やカフェを作り、みんなが集まり、集いの場のようになると良い。 ・ささえあいの施設で、子ども等の引きこもりなどの居場所づくり(学習支援)を行い、カフェでの就労などもできると良い。 ・町全体であいさつなどの声掛けができると良い。
4. 高齢者福祉	・福祉協力員を確保するためには個人情報の取り扱いも含め、もっと気軽に活動できるようにしていく必要がある。 ・活動団体の会員が減少しているため、会員になるメリットを作らないといけない。 ・高齢者の見守り、安否確認などができる情報受発信の方法ができると良い。 ・災害時に安否確認を行うため、避難行動要支援者名簿を作成しており、近隣に親族がいる、昼間だけ独居になるなどの条件から優先度をつけリスト化している。非常時には民生委員が主担当・副担当を決めて安否確認することになっている。 ・人が集まる場所がないため、ささえあいの施設内などに喫茶スペースを設けて人が集まれる場所が欲しいと感じる。特に引きこもりがちな方で、自主的に出掛けられる健康な人が集まれる場所になると良い。
5. 障害者福祉	・障害者の個別避難、避難所等での避難生活など、障害者も住みやすいまちづくり、共生社会づくりを考えていく必要がある。

基本方針4 人を育み心豊かな暮らしができるまちづくり

基本施策	まちづくりの課題・提案等
1. 学校教育	・新型コロナの影響もあり、学校での不登校が増えている。特に集団行動ができない子どもが増え、特に小学生では学力も低下している。不登校を一人でも減らすための活動を保護者も参加してできたらと思う。 ・若者の中にはコミュニケーションが取れない人、表現力のない人、受け身の人が増えおり、働いて3年が経過すると飽きてしまい、離職するケースが増えている。また、保護者の指導力も不足し、それが影響して子どもの理解力も落ち、勉強が苦手な子どもが増えてきており、学童で宿題をみてほしいという依頼も多いため、学校での学力面の強化をお願いしたい。また、優秀な子どもの学ぶ権利を守ってほしい。 ・ジェンダーの低年齢化が進んでいることもあり、今後は保育園、幼稚園、小学校などで、心の教室や人権教室の回数を増す必要がある。学校は勉強、学力だけが役割ではないため。 ・中学校の建替工事で駐車場が不足するため、学校行事に合わせてバスを運行するか、バスの運行時刻に合わせて学校行事の開始時間を調整できないか。 ・子どもの通学が遠く、なおかつ夏場は暑いため、通学バスがあると良いが、現在はPTAでタクシー送迎をしているため、町からタクシー助成金などの支援がほしい。 ・小学校が遠く、通学途中のトイレや熱中症の問題があるため、途中で立ち寄れる休憩場所(トイレ+あずまや)を作ることができると良い。
2. 生涯学習	・あいあいホールでのイベントの集客力を高めるため、民間の力も活用しながら、川越町の特色を出した企画・運営を考えていく必要がある。 ・文化面で町を発展させるため、町民が文化・芸術に触れる機会を増やすためのイベントのライブ配信、文化活動への参加機会の増加、機運醸成などを行う必要がある。 ・中学校の土日の部活動禁止に対応し、あいあいホールで文化系クラブの受入れを行う。 ・スポーツ少年団を卒団した人をジュニアリーダーにする仕組みをつくり、部活動の地域移行の指導者として対応できると良い。 ・インターネットやAIを通じて物事を知ることができる時代となっているため、図書館の役割自体を見直す時期が到来しているのかもしれない。 ・ささえあいなどの施設の利用にあたって冷暖房費の負担が大きく、利用しにくい。 ・他地区の人が施設を借りて利用することができないなど、公民館の利

基本施策	まちづくりの課題・提案等
	用制度が異なっているため、利用制限の緩和に向けて働きかけてもらいたい。 ・町民体育館や小学校の体育館の空調設備などのリニューアルできると良い。また、小さな子どもが利用できる町民プールへのニーズがある。 ・南北に児童館があるが、住民が増えている地区に児童館のような拠点、交流が図れる場があると良い。 ・町営野球場のナイター設備が故障していて暗い。 ・町のスポーツ振興に向け、強いスポーツを作っていきたい。そのため、トップアスリートによる講演会や指導会などができると良い。
3. 人権尊重・共生	・町職員が率先して基本的人権の尊重を重んじた行動を行うとともに、障害者・高齢者の社会的弱者への理解を促す行政を行う。 ・差別、偏見のないまち、笑顔によるまちづくりを進めていく必要がある。 ・町民運動会など、町民が集まる場に在住外国人の参加を促していくことが必要である。

基本方針5 協働と信頼のまちづくり

基本施策	まちづくりの課題・提案等
1. 地域活動	・若い人が既存のボランティア活動にとらわれず、楽しいサークル活動などができるような仕組みづくりができると良い。そのため、ささえあいの施設で団体が気軽に集まれるようにすると良い。 ・中学校の土日の部活動禁止に対応し、ボランティア活動に中学生が参加してくれるように受け入れを行う。 ・高校生などにも自治会の役員になってもらったり、学校の行き帰りで福祉協力員のように高齢者などの見守りなどができるようにするなど、子どものときから自治会活動に関わる必要がある。特に高校の授業料が無償化になるため、その分は社会貢献として地区に協力してもらえと良い。 ・ボランティア意識の醸成など、次の世代をサポートできる若い人材を探し、育成することが必要である。 ・後継者を確保・育成するため、町民のボランティア精神を高められる土台づくりができると良い。また、役場を定年した人、企業からの紹介など、後継者を探す方法などを検討する必要がある。 ・ボランティアを育成するため、企業に協力してもらい、ボランティア休暇などの制度、仕組みができると良い。 ・自治会や各団体の役員などのなり手の確保、会員の高齢化などの課題解決に向け、後継者となる若い人への世代交代の方法などを考えていく必要がある。 ・自治会の合併などは自治会の財産の問題もあると思う。

基本施策	まちづくりの課題・提案等
	・区と町職員が連携し、公民館で行われる各種教室の参加者の中から各団体に入る人材を発掘・育成していくことや、委員の任期など制度も変更して団体へ加入しやすいように工夫する必要がある。 ・各団体の活動を色々な世代に知ってもらう機会づくりができると良い。 ・地区によっては新しく移り住んだ人が増え、これまでと同じやり方、考え方では団体活動が難しくなっているところが多くなってきた。 ・役員の負担を軽減するため、リモートでの会議を行うことができるように、今後はスマートフォンの研修ができたかと考えている。 ・自治会や団体の役割や負担の軽減などを考えていくべき。 ・育成会の活動は、PTA からと地区からの依頼があるため、大変であり、少しでも活動を軽減させたいと考えている。 ・石取祭も青年団なども若い人の参加が減っている。 ・各団体の会員を確保するため、役員になると楽しい、勉強になる、苦労が地域の役に立つと思える団体づくりをしていく必要がある。 ・地区住民みんなで地域活動に取り組むようにして人づくりにつなげていきたい。 ・共働き世帯が多いため、役場の行事、会議などは、平日昼間の開催を避けるなど、これまでとは違う柔軟な考えで、自治会活動がしやすい環境づくりを行い、多くの住民が協力できるようにしていく必要がある。 ・役員の負担を少しでも軽減するため、自治会の役員会は日曜に開催している。また、平日に働いている人には平日の行事に参加しなくても良いなどの柔軟な対応をしている。 ・今後も人づくりが重要と考え、3世代交流などの住民同士が交流する機会を増やしていきたいが運営側の役員が大変である。 ・地区内の企業と連携して地区の活動などを進めていけると良い。
2. 広報・広聴	・電子回覧板は4月から取り組む。登録すれば安否確認ができる機能も付加している。また、スマートフォンの操作が苦手な人向けに勉強会や相談対応を考えている。 ・電子回覧板の取り組みができると良い。 ・現時点ではスマートフォンを持っていない高齢者もいるため、電子回覧板を実施するのは難しい。 ・電子回覧板は時間をかけて取り組む必要があり、当面は電子と紙の併用が良いと思う。 ・情報発信方法は全地区で統一した方が良い。
3. 行財政運営	・条例や規則関係を専門とする町職員の育成・配置を行う。 ・何事にもすぐに取り組むことができる仕組みをつくる。 ・BCP の推進やライフラインを守るための危機管理の方針・計画づくりを行う必要がある。

その他

基本施策	まちづくりの課題・提案等
その他	・町内 10 地区は、それぞれ課題が異なるため、他地区がやらないからできないというできない理由は良くない。 ・町は財政的にも豊かであるため、国や県の事業の隙間を埋める取り組みができると良い。